

平成29年度愛知県食育推進会議 会議録

1 日時

平成29年7月3日（月） 午後2時から3時20分まで

2 場所

愛知県庁 本庁舎 6階 正庁

3 出席者

会長及び委員26名

説明のために出席した者 農林水産部次長始め24名

4 議事の概要

(1) 知事挨拶

本日は、「平成29年度愛知県食育推進会議」を開催いたしましたところ、お忙しい中、御出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、日頃から愛知県政全般にわたり御支援をいただきまして、心から感謝申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、それぞれの立場で食育の様々な取組を展開していただいております、ありがとうございます。

こうした中、先週末に、岡山市で開催された食育推進全国大会におきまして、西三河農業協同組合さんが農林水産大臣賞を受賞されたと伺っております。心からお祝い申し上げます。

県といたしましては、食育基本法に基づき平成18年に「愛知県食育推進会議」を設置し、県民運動として「食育」を推進してまいりましたが、更にその着実な進展を実感しております。

昨年3月にこの会議の御了承を得て作成いたしました第3次愛知県食育推進計画「あいち食育いきいきプラン2020」では、「健全な食生活を実践できる人を育てる」ことを目的としておりますが、新たな課題として、「野菜摂取量の向上」や「郷土料理等の地域の食文化の保護・継承」などにも、県と関係団体が連携協力して、対応を進めることとしております。

「成人一人1日あたりの野菜摂取量」については、国の統計によると愛知県は全国47位で最下位でございます。キャベツなどに代表されますように全国有数の生産県「あいち」でございますが、その一方で野菜摂取量が少ないというのは忌々しき事態であり、少しでも野菜を摂取していただくよう皆様と働きかけを行っていくので、妙案があれば御提案いただけたらと存じます。

また、郷土料理等については、本年2月に「あいち」ならではの食文化、郷土料理の理解と継承を図るため、お手元の冊子「あいちの郷土料理レシピ50選」を発行いたしました。「あいち」で育まれた郷土料理が、保育所・幼稚園、学校、職場、地域などの場において、幅広い世代の皆様にも、広く伝えられることを期待しております。

本日の会議では、こうした取組を始め、地域で連携・協力し展開している食育活動を紹介する「あいち食育いきいきレポート」や「あいち食育いきいきプラン2020」の主な取組について、御協議をいただきます。

限られた時間ではございますが、委員の皆様方には忌憚のない御意見を賜り、「あいち」の食育が更に前進してまいりますことをお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。

(2) 委員の異動報告等

本日は、委員29名のうち26名の委員の方に御出席いただいており、愛知県食育推進会議条例第4条の3の規定の「半数以上の委員の出席」を満たしております。会議が成立しておりますことを御報告申し上げます。

本年度の本会議は、本日の1回のみのご予定でございます。11名の委員の異動がございました。また、皆様が顔を合わせる数少ない機会でございますので、お一人ずつ所属とお名前を順番に御紹介いただきたいと存じます。

【委員自己紹介】

ありがとうございました。出席者名簿にございますとおり、本日は3名の委員が御欠席でございます。なお、会議終了時間は、午後3時30分を予定いたしておりますので、御協力をお願いいたします。それでは、会長代理であります高橋農林水産部長に、議事の取り回しをお願いいたします。

(3) 会議録署名人の指名

それでは、会議の次第に基づきまして、議事を進行いたします。

初めに、本日の会議録の署名人についてでございますが、愛知県漁業協同組合連合会の和出委員と公益社団法人愛知県栄養士会の佐々委員をお願いをしたいと存じますので、よろしく申し上げます。

(4) 議事

ア 「あいち食育いきいきレポート2017」(案) について

議長

議題(1)の「あいち食育いきいきレポート2017」(案)についてでございます。
事務局から説明してください。

【事務局】

資料1により説明。

議長

ただいま、「あいち食育いきいきレポート2017」(案)について御説明いたしました。昨年度の

取組をまとめたもので、非常に多くの活動を地域で展開していただいております。こうした記録を残すことは、今後の活動の重要な資料となるものとして作成しております。

これにつきまして、御意見、御質問等を承りたいと存じます。

【意見・質問等】

なし

議長

御質問がないようですので、「あいち食育いきいきレポート2017」につきましては、本案によりまとめさせていただくということで、今後、公表手続きに入りたいと存じます。

なお、最終的な調整につきましては、事務局に一任いただくことで御了解いただきたいと存じます。

イ 「あいち食育いきいきプラン2020」の推進について

議長

次に議題(2)の「あいち食育いきいきプラン2020」の推進についてに入らせていただきます。

本年度は「あいち食育いきいきプラン2020」の計画期間2年目ということで、初めに資料2に基づき「あいち食育いきいきプラン2020」における「食育の目標」の現在の進捗状況について、事務局から御説明させていただきます。

【事務局】

「あいち食育いきいきプラン2020」の本冊・概要版、資料2により説明。

議長

続きまして、資料3「あいち食育いきいきプラン2020の主な取組」につきまして、それぞれ担当課室から御説明させていただきます。

【事務局】

資料3により説明。

議長

「あいち食育いきいきプラン2020の推進」について、御説明申し上げました。

食育を実践する気運は高まっていますが、目標達成に向けてまだまだ取組が必要でございます。

この内容につきまして、御意見、御質問を承りたいと存じます。

【意見・質問等】

○野菜の摂取量向上に向けた取組について

【魚住委員】

昨年度、愛知県の野菜の摂取量が少ないことを知り、ショックを受けました。野菜の摂取量の少ない要因について、昨年度以降、何か分かったことがあったら教えてください。

【事務局】

県民を対象にアンケートをした結果、一日に野菜を摂取する回数が少ないことが分かってきました。また、食事の際に野菜を一品添える方が非常に少ないということも分かってきております。

詳細な分析につきましては、現在進めているところであります。

【佐々委員】

公益社団法人愛知県栄養士会としても、野菜の摂取量向上は重要な課題でありまして、昨年度は8月末に県民向けに講演会を開催しましたところ、多くの方に御参加いただきました。引き続き県民に直接アプローチする取組が必要と考え、本年度は、栄養の日・栄養週間にちなみ7月29日に刈谷市産業振興センターにおいて県民向けの講演会の開催、骨密度測定及び栄養相談を実施し、働きかけていく予定です。

○学校給食における地域の産物の活用に向けた取組について

【伊藤委員】

使用量が確保できない、規格・サイズにあった食材が必要量確保できないことが、課題として挙げられています。年3回の「愛知を食べる学校給食の日」は、県内全域で同じ献立としているということでしょうか。

【事務局】

年3回の「愛知を食べる学校給食の日」は、県内全域で同じ日に同じ献立としている訳ではございません。

地域の産物の活用に向けた課題としましては、使用量が確保できないことが大きいところでございます。地場の産物が多い地域とそうでない地域があり、どうしても供給量に地域差が生じてしまいます。この地域差をなくすためには、県内全域の産物をどの地域でも入手できるようになればよいのですが、難しい現状があり、今後の課題と考えております。

【古林委員】

使用量が確保できない、規格・サイズにあった食材が必要量確保できない、価格が高い・安定していないなどの課題がある中で、給食現場においては献立等で努力をしています。昨年度は天候不順により野菜が入手困難な状況にありました。

今後も魅力ある献立に心掛け、献立を生きた教材として、児童・生徒に還元できるよう努めていきたいと思っています。

○郷土料理等地域の食文化の継承に向けた取組について

【鳥居委員】

「あいち郷土料理レシピ50選」の編集をさせていただきました。実際に編集作業を進めると様々な壁にぶつかりました。郷土料理の定義が難しかったです。具体的には、何をもって郷土料理とするのかです。いつの時代のものまでが郷土料理なのか、地域によって作り方などが異なっているものも

あり、また、行事食と一般家庭の食事との違いを含めて、何を選定するのか悩みました。検討の結果、「あいち郷土料理検討委員会」としては、戦前からあった料理を郷土料理の一つの目安とすることとしました。

レシピを作り上げていったときに、委員の一人から「10年遅かったね。」という意見がありました。つまり、現在80歳代から90歳代の方に郷土料理のことについて、もっと聞いておかなければならなかったということです。同じ料理であるはずなのに名前が異なっていたり、同じ名前であるにもかかわらず料理が異なるものもありました。また、「五平餅」については、愛知県、岐阜県、静岡県にもあります。「黄ないおこわ」については、作り手三人から作り方を聞いてみますと、それぞれ異なるなど、何が一般的なのか判断することが難しかったです。

「あいちの郷土料理レシピ50選」が全てではありません。一つの目安によって、ある程度基本的な郷土料理の一部分を示したものに過ぎません。

今後、これをどれだけ広げ、継承していくのが、私たちのこれから進むべき道であると思います。

○食育推進ボランティアについて

【仙田委員】

普段は保育園に勤めておりまして、そこで食育活動を実践しています。今回は、食品ロスということで、保育園における食育で色々な野菜を育てる中で、「サツマイモはイモだけを食べるのではなく、昔は茎のところもキンピラにして食べていたのだよ。」と話をし、園長先生を始め皆で調理しました。また、エコということで先日、トウモロコシのクッキングを親子にいたしました。「普段はトウモロコシの実だけを食べるけれど、『ひげ』のところも食べられるのだよ。」と話をし、それを使ったスープを作って食べたり、「ひげ」の部分を食べることによって得られる効果を話したりするなど、野菜に色々な興味を持ってもらえるような取組をしています。

今後も野菜の生産者と連携し、引き続き子どもたちに興味を持ってもらうような活動をしていきたいです。

○その他

【魚住委員】

生協では食育ということで、日頃は子どもとお母さん、最近ではお父さんも増えていますが、実際に現場に行って、触ってみる、作ってみる体験型の食育を実施していますが、体験してそれで終わりという感じもありました。

今回は、いつも体験をさせていただく卵の生産者の「デリーファーム」と連携して、「卵は美味しいよ」、「この鶏は飼料米を餌として食べているのだよ」ということだけでなく、美味しく卵を食べる健康になるために、レシピを皆さんに提供しようと考えました。レシピは、愛知学院大学の酒井教授の御協力のもと学生さんに開発していただきました。

卵は一日一個しか食べてはいけないと言われてきた世代もまだまだ多いのですが、こんなに素晴らしい卵をメニューの中に入れられるように、レシピ開発を学生さんにさせていただいたところです。

また、東海農政局、愛知県庁の担当者にも来てもらい、愛知県に素晴らしい食材があることを父母にも理解してもらうため「Love キッチン Cafe」というカリキュラムを初めて作ってみました。いつもは体験、感動で終わっているところを、更に一歩進めて科学的に健康で美味しい卵の食

べ方を提案したいと思っています。7月8日にコープあいちの生活文化会館にて開催しますので、紹介させていただきました。

【村上委員代理】

J Aグループ愛知では、平成13年度から県農林水産部、教育委員会の協力のもと、冊子「愛知の農業」を作成し、全小学校に配付しております。

昨年、小牧市の小学校のある学級から、「この冊子を見て、この地域でどのような農産物が生産されているかを調べてみたところ、「ぶどう」、「サボテン」など色々なものが生産されていてすごいと思った。」という内容のお手紙が寄せられました。このことから、本年度は地元を意識して冊子をリニューアルしました。地図に地元農産物をできるだけ記載し、各小学校の地元このような農産物があるということの理解を深めて欲しいという想いで作成いたしましたので、御活用いただけたらうれしく思います。

【小池委員】

私たちは普段、小売という立場から、食品事業者の皆さんや小売業としての自らとで店頭での食育活動に取り組んでいます。

「あいち食育いきいきプラン2020」において、食育を支える目標として「食育推進ボランティアから食育を学んだ人数」が掲げられておりますが、チェーンストア、スーパーマーケットやその他店頭の間を食育推進ボランティアの方に御活用いただけるよう、県にはマッチングの機能を持っていたきたいと思います。私たちの店頭には不特定多数のお客様が御来店され、地域とのつながりの場として重要な役割を持っています。食品に近い現場において、是非とも食育推進ボランティアの方と一緒に食育を展開してまいりたいと思っています。

また、「『いいともあいち運動』を知っている人の割合」を増やす目標がありますが、知っている人の割合を高めた後、次にくる目標はどのようなものを教えてください。私たち自身も「いいともあいち商品」をたくさん店頭で取り扱っております。「知っている人の割合」を高めた後、次にどのような活動につなげていくのかについて、今後の参考までに教えてください。

【事務局】

食育推進ボランティアとのマッチングについては、ボランティアとの調整も必要でありますので、実施の是非を含めて、今後、検討させていただきます。

「いいともあいち運動」につきましては、認知度を十分に上げ切れていないため、「いいともあいち運動」と地産地消の中身を知っていただく取組を行ってまいります。したがって、次の展開につきましては、現段階ではお示しすることはできません。愛知県食育推進会議委員の皆様と一緒にしながら進めてまいりたいと存じますので御協力をお願いします。

【酒井委員】

「いいともあいち運動」は来年度で20周年を迎え、継続した運動として取り組まれています。基本は、安全なものを健康になるよう美味しくいただけることに目的がありまして、地産地消の推進が大切です。

愛知県は非常に良い農林水産物があるので、それをもっと消費者に勧めてもらうことです。どういうことをやっていったらよいかと考えますと、その中には、食育もあれば、生産の問題、最終的には人づくりが大事であるところに話し合いが進んでいます。

一番の課題は、いかに連携をしていくかということです。皆さんそれぞれの立場で良い物を作っています。それをどうやって協働して、皆の認識を高め、運動を広めていくかという連携をいかに進めていくかです。県は、それぞれの立場で様々な事業を展開されていますが、それらが一体化していくことが非常に重要であり、今後の課題であると思っています。

議長

県から御説明申し上げた点、各委員から頂戴した御意見につきましては、県といたしましては御意見を参考にしながら食育を進めてまいりますし、それぞれのお立場からの食育の推進の御参考としてくださいますようお願いいたします。

次に議題（３）の「その他」について、事務局から何かありますでしょうか。

【事務局】

特にございません。

議長

それでは、全体を通じて何か御意見、御質問等がございましたらお願いします。

他にないようですので、以上で予定しておりました議事につきましては、全て終了させていただきます。

県といたしましては、「あいち食育いきいきプラン2020」に基づきまして、食育の推進に全力を挙げてまいりますので、皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

それぞれのお立場での活動をより一層進めていただきますようお願いいたします。

以上

会議録署名者
